

平成25年3月議会予算特別委員会で質問しました。

テーマ 「少子化対策について」

問 富山県の学童保育（放課後児童クラブ）の数は足りているのか？

（厚生部長） 県の平成26年度までの目標数は222か所としているが、平成24年度で211か所となっている。大半の希望者は入所できていると考えられるが、個々のクラブでみれば、事情により利用できないケースもあると聞いている。

問 学童保育の開設時間の実態はどのようになっているのか？

（厚生部長） 平成24年5月の調査では、211か所のクラブのうち、午後6時を超えても利用できるクラブは57か所と3割弱となっている。午後6時を超えて利用できるクラブの数は増加傾向である。

問 学童保育を、地域の保育園や幼稚園と一体的に整備することにより、学童保育の職員の配置や開所時間の延長がスムーズ進むと考えるがどうか？（射水市で、午後7時まで開所している学童保育は、ともに学童保育が保育園と隣接している。）

（厚生部長） 保育所等に併設して設置されている学童保育については、午後7時を超えても利用できる場合もある。県内一律に展開することは難しいが、延長保育のノウハウや経験のある社会福祉法人が学童保育を開設してくれれば時間延長に取り組むクラブが増加すると考えられると期待しており、市町村や事業者の相談があれば助言をしていきたい。

問 学童保育の充実を図るために、今後の県の取り組み方針を問う。

（知事） 平成27年度からは「子ども・子育て支援新制度」が始まることになっている。市町村が学童保育を含めた各種の子育て支援サービスのニーズを調査、把握し、計画的に事業の実施をする。また児童福祉法の改正により、これまで学童保育の利用年齢が概ね10歳までと定められていたが、この年齢制限が撤廃されることにもなっている。県としては、議員の提案も踏まえながら、市町村をしっかりと支援していきたい。



Vol.6 平成25年4月号(H25.5発行)

永森直人県議会通信



発行：自民党富山県議会議員 永森直人
〒939-0306 射水市手崎363-1
TEL 0766-55-3533 FAX0766-55-3577
E-mail:nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp



ご挨拶

みなさん、こんにちは！
早いもので、富山県議会議員とならせていただき、2年が経過をいたしました。

今任期も折り返し地点を通過し、ますます元気に充実した議員活動を展開してまいりたいと思います。

また、このたび、自由民主党議員会に入会し、活動をしていくことになりました。

2年間の議員活動において、一人のできる活動の限界を知り、また、志を同じくする先輩や仲間の議員とともに切磋琢磨し、議会人として、もっと勉強し、成長したいとの思いから決断したものであります。何卒ご理解をお願いいたします。

さて、平成25年3月定例会においては、平成25年度予算が成立いたしました。

予算規模は、約5,451億円で前年度比0.9%の減であります。2月補正予算と合わせた14か月予算では、前年度比5.4%増の5,871億円となり積極型の予算となりました。

いよいよ北陸新幹線開業まで2年を切り、観光振興や企業誘致など開業効果を最大限に活かすための政策に重点がおかれています。

昨年末の政権交代により安倍政権が誕生して以来、経済は回復基調を見せておりますが、地方経済においては、まだまだ厳し

い現状が続いており、本県も同様であります。今回の新幹線開業を地域活性化のラストチャンスのような気持ちで取り組む必要があります。

そして同時に、これから迎える人口減少社会において、どのように地域社会・地域経済を維持していくのか、中長期的な目線で抜本的な対策も不可欠であります。

とりわけ、少子化対策というものに本腰を入れ、課題を洗い出し、分析し、その上で集中的に予算を投入することが必要と考えており、この議会においても集中的に質疑させていただきました（質疑応答要旨は4ページに掲載）。

残念ながら、県当局とは必要性の認識では共通するものの、その危機意識という面では、なかなか議論がかみ合いませんが、引き続き主張を続けていきたいを思っております。

さて、自由民主党に入り、心機一転、新たな1年がスタートしました。大いに勉強させていただき、「進化」の1年にしたいと思っておりますので引き続き、皆様のご指導を賜りますようお願いいたします。



富山県議会議員

永森直人（ながもりなおと）

略歴

昭和50年1月20日生まれ
東京都立大（現 首都大学東京）卒
平成9年 富山県庁入庁
平成22年 富山県庁退職
平成23年 富山県議会議員選挙で初当選

皆さんからのご意見、アイデア、ご要望をお待ちしています。



永森直人事務所

住所：〒939-0306 射水市手崎363-1
電話：0766-55-3533 FAX：0766-55-3577
E-mail：nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

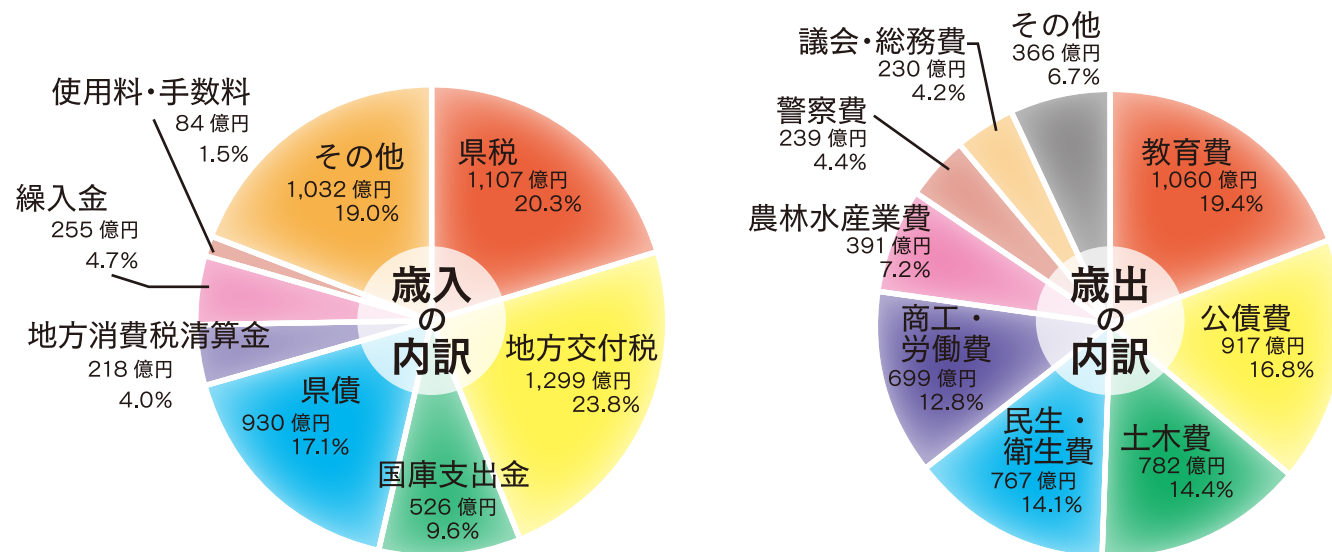
トピックス1

平成25年度富山県予算が成立

平成25年度予算は、約5,451億円で前年度比0.9%の減となりましたが、2月補正予算と合わせた14か月予算では、前年度比5.4%増の5,871億円となっています。

平成25年度一般会計予算 歳入・歳出の概要

区分	平成25年度	平成24年度	対前年比	
			増減額	増減率
一般会計予算	545,061,878千円	549,892,597千円	△4,830,719千円	△0.9%
14か月予算	587,132,998千円	556,856,310千円	+30,276,688千円	+5.4%



主な事業

○農林水産業の振興

- 農業研修体制のあり方調査・検討、新規就農者へ給付金を支給 8,875万円
- 「全国豊かな海づくり大会」の開催準備等 4,640万円

全国豊かな海づくり大会 射水市開催が内定!

全国豊かな海づくり大会は、水産資源の維持培養や海域環境保全の大切さを広く国民に訴える国民的行事で、例年、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り開催されています。

新幹線開業後の平成27年度には、富山県・射水市で開催されることが内定しました。



○陸・海・空の交通物流ネットワークの基盤整備

- 北陸新幹線開業に向けた基盤整備(富山駅付近立体交差等) 265億8,000万円
- 北陸新幹線のPR事業等 1億6,500万円
- 日本海側の総合的拠点港「伏木富山港」の整備と利用促進(新湊大橋周辺等の整備、環日本海クルーズの推進、シベリア鉄道を利用した輸送実験など) 8億5,212万円

○子育て支援や学校教育の充実

- 特別保育事業(病児・病後児保育や延長保育の拡充) 5億7,579万円
- 放課後児童クラブの拡充 3億2,458万円
- 小学校における少人数教育の充実 1億3,271万円
- 中1・35人学級選択制の実施等 1億661万円
- 県立学校、私立学校等の耐震化の推進 46億1,126万円

○医療・福祉の充実

- 県立中央病院の機能強化 8億2,163万円
- 新たな総合リハビリテーション病院・こども医療福祉センターの整備 3億3,381万円

○スポーツの振興

- 富山マラソン(仮称)の開催準備 900万円

○災害に強い県土づくり、防災・減災体制の強化

- 橋梁の耐震化、トンネルの補修、海岸施設の整備 422億1,000万円

○生活交通の充実

- 並行在来線の開業に向けた準備(運営会社への出資など) 19億9,553万円
- 城端線・地鉄本線の新駅設置を支援 1億円